

学校認知行動療法研修会・指導者養成6時間ワークショップ

不安への対処力を養う 認知行動療法の授業実践

参加費
無料

(小学校高学年～中学生向けの、10回の授業で行う予防教育プログラムです)

主催:千葉大学子どもこころの発達教育研究センター 後援:千葉県教育委員会

認知行動療法に基づく予防教育プログラム「勇者の旅」の指導者を養成します。不安の問題に対処する知識とスキルを、授業で教えてみませんか？



- ◆ 時間:9:30-16:30 (9時受付開始)
- ◆ 内容:ミニ講義(認知行動療法とは/「勇者の旅」プログラムとは)、ロールプレイによる模擬授業、質疑応答、修了証授与
- ◆ 対象:小中学校の教諭、養護教諭、スクールカウンセラー、その他、学校現場で子どもこころの教育に携わっている方(学級活動、総合的な学習の時間、道徳等の時間に実施をご検討いただける先生であれば、どなたでもお申込みいただけます。)
- ◆ 定員:45名程度(事前申込制です。申し込み方法の詳細は、裏面をご覧ください。)

日程	開催日	会場	所在地
A	7月29日(月)	千葉大学亥鼻キャンパス 医薬系研究棟Ⅱ期棟	千葉市中央区亥鼻1-8-1
B	8月5日(月)	木更津市立富来田中学校	木更津市真里谷275
C	8月21日(水)	市原市立南総中学校	市原市安久谷140
D	8月23日(金)	館山市立館山第二中学校	館山市長須賀136
E	8月26日(月)	安房教育会館	館山市北条2609-20
F	8月29日(木)	柏市立柏中学校	柏市明原4-1-1
G	8月21日(水)	松戸市柿木台公園体育館	(募集終了)

◆ ワークショップの目的

子どもたちは様々な不安の問題を抱えており、それが学校生活での不適応（問題行動・不登校等）や学業成績の不振につながる場合も多くあります。その解決法として、不安の感情をコントロールする目的で、考え方（認知）や行動のパターンを見直す認知行動療法が、医療機関で実施されています。

また近年、学校現場において、学級集団を対象に認知行動療法に基づく指導を行うことで、子どもたちの不安の点数を低減することが実証できています。本ワークショップでは、小学校5～6年生から中学校の児童生徒向けに、学校で行う認知行動療法の授業を実践できるようになるためのワークショップです。

◆ 研修会参加申し込み方法

①氏名（ふりがな） ②性別 ③所属 ④職種 ⑤参加希望日程（A～F） ⑥（当日連絡のつく）電話番号 ⑦（異動後も連絡可能な）メールアドレス ⑧授業実践予定の有無（今年度予定・来年度予定・未定・なし）について明記の上、**7月19日（金）**までに、yuushanotabi@chiba-u.jpまでお申し込み下さい。

【お申し込みにあたっての留意事項】

- ・今年度、または次年度に勤務校にて授業実践予定となっている先生方は、優先的に本研修をご受講いただくことができます。⑧にその旨を明記してください。
- ・お申し込みが定員を超えた場合、抽選とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ・抽選の結果等につきましては、**7月24日（水）**に、お申込みメールへ返信の形でご連絡いたします。上記申し込みアドレスから結果が送信されますので、受信設定をあらかじめご確認ください。

【文部科学省委託事業】

本事業は、平成26年7月24日の文部科学省「情動の科学的解明と教育等への応用に関する調査研究協力者会議（審議のまとめ）」の提言を受け、研究と教育の現場をつなぐ目的で立ち上げられたものであり、平成27年度予算に基づき文部科学省の委託事業として大学コンソーシアム（大阪大学を基幹大学に、金沢大学、浜松医科大学、千葉大学、福井大学、鳥取大学、弘前大学、兵庫教育大学、武庫川女子大学、中京大学の10大学）により行われるものです。

【令和元年度いじめ対策等生徒指導推進事業】

脳科学・精神医学・心理学等と学校教育の連携の在り方「子どもみんなプロジェクト」のご案内

本取り組みでは、不登校、いじめ、子どもの問題行動とともに、子どもたちみんなの育ちと学びについて、教育実践者と基礎的学問領域の研究者がそれぞれの立場から、課題について考え、その解決策を探ります。

(URL <http://smilesupporter.wix.com/kodomo>)



千葉大学

子どものこころの発達教育研究センター

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1 電話:043-226-2975 Fax:043-226-8588